

2015 年 10 月 3 日

大山山行報告書

M0 上村拓

【参加メンバー】

M3 堀 M0 青木 上村 田尻 林 C1 木村 女子医大 2 年 山本 寺川 計 8 名

【コースタイム】

10 月 3 日（土）新宿駅 07:51～08:52 伊勢原駅 09:15～09:35 大山ケーブルバス停～10:40 阿夫利神社下社～12:05 阿夫利神社本社～13:30 見晴台～14:00 阿夫利神社下社～14:50 大山ケーブルバス停

【本文】

冬学期（A セメスターだったか）が始まり、C2 の皆は無事 M0 へと進むことができたようである。実は前々から山岳部に興味を持ってくれていた方も何人かいるし、理二からの方も新たに入部してくれたので、一つ新歓のようなものでもやろうじゃないかと軽い日帰り山行を立ててみた。なんと女子医の方まで参加してくれて、気付けば 8 人の大所帯。今まで 2～4 人が当たり前であったのに、嬉しいやら不安やら。まあ今回は何がどうなってもどうにかなるというある程度の確信はあったので楽しくハイキング。

丹沢は好アクセスが魅力である。電車、バスを乗り継ぎ 2 時間足らずで登山口。大山ケーブルバス停からこま参道をてくてく歩いていく。道の両側にお土産屋さん。見ていて楽しい。観光地感たっぷりで女坂へ。それなりに急な石段を、初心者の方もいるのでゆっくりと登っていく。女坂には 7 不思議があるそう。女坂を登りで使うと七不思議のひとつ、無明橋がトラップに姿を変える。注意されたし。我々は見事に引っかかった。悲しいことに 7 不思議を 6 不思議までしかコンプリート出来なかった。おしゃべりに花を咲かせすぎた。阿夫利神社下社で売店のおばさんに水をもらい先へ進む。ここからようやく登山らしくなってくる。山頂を 28 丁目として各丁目ごとに登山道に石標が立っている。いくら何でも細かく分けすぎだと思う。パーティー後方の 4 人が言語の話で何やら盛り上がっていたが私にはサッパリ分からなかった。予定より 20 分ほど遅れたが山頂に到着。記念写真&お昼ご飯。女の子にはちょっと急な登りだったかもしれないが、男性陣は物足りない様子。まあハイキングだから勘弁して。下山には雷ノ峰尾根を使い見晴台まで向かう。ここでも言語トークに花が咲く。私含む話についていけないみんなは大学でのことなど軽いおしゃべり。流石に整った道で歩きやすかった。見晴台では塙さんにいただいた野菜かりんとうの味比べ。玉ねぎの味がすることに感動していた。曇っていてそこまで見晴らしがよくなかったのは残念。そこからずっとトラバースして下社へと戻る。この道は工事中のようで、丁度施工期間を外れていた日だったのでラッキー。勿論知っていましたが（震え声）。途中崩落地があるようで心配していたがすでに整備されていた。途中の二重滝は個人的に楽しみの一つであったが、そこまで大きな滝ではなかった。あっさり通過。下社に戻ると行きで水をくれたおばさんが寄ってけと客引き。遅れているからとやんわりお断りして、帰りは男坂を下る。が、かなり急な石段である。ちょっと選択を誤ったかしらんとしたが、みんな下りて来られているようだしまあいいかと気楽なもの。ただ最後にペースが上がってしまったのは申し訳ない。皆さん無事に大山ケーブルに到着。再び商店街を抜けてバス停へと戻り着いたのであった。

2015 年 10 月 3 日

今回は互いに初対面の方も大勢いて、良い交流の場になったのではないかと思います。今後もっとしっかりした山行に参加してくれそうな方もいて、次回以降が楽しみである。これを機にどんどん山岳部の活動に参加していただけたらと思う。

